



大阪市長

西尾 正也

# おとしよりやわごころまなびひろをめぐって

このたび、大阪市高齢者総合相談情報センターの情報誌「8181」を創刊いたしました。おとしよりはじめ市民の皆様にも、高齢者の施策や福祉機器・介護用品の紹介など生活に役立つ情報をお届けいたします。

人生八十年時代を迎え、六十五歳以上の高齢者は、現在市内に約三十万人おられますが、十五年後には約五十万

設いたしました。また、おとしよりが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう保健・医療・福祉の連携を図った高齢者地域支援システムの構築をはじめ、ホームヘルパーの増員、テイサービスセンターの拡充、ショートステイの充実や特別養護老人ホームの計画的整備を進めてまいりますとともに、おとしよりはじめ、だれもが安心して行動できるまちをめざして、歩道の整備やリフト付路線バスの運行、地下鉄の駅のエレベーターやエスカレーターの設置を進めてきております。

高齢者総合相談情報センターでは、おとしよりの生活に直接かわる健康や福祉制度の利用についての生活相談をはじめ、法律・年金・住宅などの専門相談を行うほか、情報提供、職業紹介や緊急通報の受信、福祉機器等の展示などの事業を行っております。

この情報誌が、高齢者総合相談情報センターとおとしよりやそのご家族の方を結ぶ絆となり、センターがいっそう親しまれる施設として利用され、明るい長寿社会実現のための一助となることを心から念願いたしております。

人になると予想されております。大阪市では、今後の高齢化社会の進展に対応して福祉をはじめ各種施策の総合的な充実を図るため、二十一世紀に向けた高齢社会対策の長期指針「いきいきエイジング、みおつくしプラン」を策定いたしました。

昨年七月には、このプランの総合的な推進を図るため「大阪いきいきエイジング推進本部」を設置するとともに、高齢者総合相談情報センターを開





大阪市社会福祉協議会

会長 駒井 信義

# ひとりでも多くの 高齢者や その家族の悩みが 解消されるように

大阪市高齢者総合相談情報センター  
情報誌の創刊にあたりごあいさつを申  
しあげます。

大阪市では、平成二年十月、二十一  
世紀の高齢社会に対応するため「いき  
いきエイジング、みおつくしプラン」  
が発表され、大阪市高齢者総合相談情  
報センターはこのプランの中でも重要  
な役割を果たすことが期待されている  
施設であります。

高齢化社会の問題は極めて広範な分  
野にわたるものであり、関係諸機関が  
連携を密にして効果的に施策を展開し  
ていく必要があります。そのためには各種  
の必要な情報を的確に把握し、活用し  
ていくことが不可欠であります。この  
ため高齢化問題に関する情報が体系的  
に収集され整備されることが、今後ま  
すます重要になってくるものと考えま  
す。

大阪市高齢者総合相談情報センター  
は高齢者およびその家族が抱える各種

の心配ごと、悩みごとに対して、総合  
的かつ迅速に対応する相談窓口として  
開設されたもので、高齢者についての  
各種の相談や情報提供、福祉機器の展  
示、区レベルの相談窓口や高齢者サー  
ビス調整チームとの緊密な連携を図る  
ことを目的に平成三年七月一日に開館  
し、その管理運営を当協議会が受けて  
います。

また、ひとり暮らしのおとしよりなど  
が、緊急時に必要な援助が受けられる  
よう緊急通報受信事業も同年十二月か  
ら開始されたところであります。

当センターでの相談により、ひとり  
でも多くの高齢者やそのご家族の方々  
の抱えている心配ごと、悩みごとが解  
消されることを期待しております。

最後になりましたが、大阪市をはじ  
め関係諸機関の皆様方のご協力に対し  
深く感謝いたしますとともに、今後と  
も一層のご指導とご鞭撻を賜ります  
ようお願い申し上げます。